



「国立市保育整備計画」では、2園目以降の公立保育園の民営化については、1園目（矢川保育園）の評価を行ったうえで順次進めていくこととしています。その評価検証を行うため開催している「国立市保育審議会」の内容をお伝えするため、市は、「保育審議会だより」を発行しています。

今号では、1月22日に開催された第5回保育審議会と2月7日に開催された第6回保育審議会の内容についてお伝えします。第5回保育審議会では、国立市から矢川保育園へ派遣されていた職員から、第6回保育審議会では、くにたち子どもの夢・未来事業団の職員から、それぞれヒアリングを行いました。今後、ヒアリングの内容をまとめ、1園目の民営化の改善すべき点、評価できる点を明らかにしてまいります。

（Ⅰ）国立市から矢川保育園へ派遣されていた職員へのヒアリング

①ヒアリング対象者

- ・元・矢川保育園園長（開設初年度から令和4年度まで）
- ・元・矢川保育園保育士（開設初年度に勤務）

②ヒアリング対象者からの話し（要旨・抜粋）

- ・国立市の保育の継承を目的として派遣された市職員と、新園という感覚が強い事業団に採用された職員が一緒に働くなかで生じた土台のずれにより、どのような保育を目指していくべきか、明確にならない方向性に戸惑うこともありました。
- ・公立に比べ、時代に合わせ、保護者や子どもたちの様々なニーズに迅速かつ柔軟に対応できる良さもあったと感じました。また、ICT化により事務量の削減につながりました。
- ・今後、民営化を進めることがあれば、同じような状況にならないよう引継ぎは移行前から新しい職員と一緒に保育をして、職員間、子ども、保護者の関係を作ってから、新しい生活に見通しを持ってスタートすると良いと感じています。

③委員からの質問とその回答（要旨・抜粋）

Q「開設当初、これまでの伝統や想いを知っている市から派遣された園長がいらっしゃるのであれば、それが引き継がれるであろうと期待される。しかし必ずしもそうではなかったような印象を受けた。もし仮に新型コロナウイルス感染症の流行がなかったとしても、行事は変わっていたと思いますか。」

→A「新型コロナウイルス感染症が1つの要因になったことはありますが、状況に応じて職員で話し合い、子どもたちの活動、行事について考えています。見直す必要を感じたときには、変わっていくこともあると思うし、今までやっていたから同じようにということではなく進めています。それは公立でも同じです。」

Q「引き継ぎ書にはどのようなことが書かれていたのですか。」

→A「保育の内容については一緒にこれから作り上げていくという考えでしたので、細かいマニュアルではなく、公立保育園職員の想いを集約した冊子を作成しました。」

くにたち子どもの夢・未来事業団へのヒアリング
については裏面へ続きます



(2)くにたち子どもの夢・未来事業団へのヒアリング

①ヒアリング対象者

- ・くにたち子どもの夢・未来事業団事務局長
- ・現・矢川保育園園長

②ヒアリング対象者からの話し（要旨・抜粋）

- ・公立の矢川保育園から引き継いだ人員体制、人数を維持しているという点は、質の確保という点では事業団方式による保育園運営のメリットであったと感じています。
- ・民営化のルールを引く役割の事業団と国立市が、引継ぎの方法についての具体的なイメージを持てていなかった、『継承』という言葉が今思うととても曖昧だったように感じます。
- ・保護者からは、新園舎になって設備面や安全面については大きく改善されたという意見が多かったです。また、おむつのサブスクや、口拭きタオル等を園で用意するようにしたことについて好意的な意見が寄せられています。

③委員からの質問とその回答（要旨・抜粋）

Q「仮定の話になりますが、矢川保育園の継承したかったものというのはマニュアル化できたとお考えですか。」

→A「細かいマニュアルは難しいと思います。」

「毎年、例えば同じ1歳児クラスでも、今年の子と次の年の子では違う。保育の理念、保育目標は変わらず、だけどそれに至るまでの過程は柔軟に保育を捉えながら、作っていくものと思っています。」

Q「1年目のときの土台づくりの進め方で、いろいろな立場の人がいろいろな思いで関わって、そこがまとまらないままスタートしてしまったのかなと思います。でもお話を聞いていると、それぞれに一生懸命にやっていた。誰が良い、悪いではなく、こういうことをもう少し大事にしたら良かったのではないかとと思われることがありましたら、教えていただきたいです。」

→A「先生たちも、お互いを分かり合いながら、子どもたちのことも理解しながら、具体的に根拠を示して保育をしていくとことが、専門職として求められ役割でもあるかと考え、現在は『仕事始めに』という園長がまとめた資料を用いて押さえておきたいポイントを年度替わりに職員と共有しています。」



▲事業団事務局長



▲現・矢川保育園園長

次回、第7回国立市保育審議会の開催日時等については、市ホームページにてお知らせいたします。（令和7年4月開催予定です。）

（問い合わせ）

国立市 子ども家庭部 保育幼児教育推進課 保育・幼稚園係

電話：042-576-2427（直通）

メール：sec_hoiku@city.kunitachi.lg.jp



▲国立市保育審議会のWebページ